保護者の皆様へ　　Ｒ３．９．１　吉原幹男

第２学期スタート

長いようで短い夏休みでしたが、今日から第２学期がスタートします。

今学期スタートから、全校生徒で体育館に集まり始業式を行い、大きな声で校歌を歌いたいと思っていましたが、コロナ感染の急拡大と猛威により、県独自の緊急事態宣言の発令、まん延防止等重点措置が適用され、本日の始業式は校内放送で行いました。

校内放送の中で、なお一層の感染対策として、下記の点を確認しました。

① マスク着用はもちろんですが、できれば不織布マスクを利用すること。
② 十分な換気を行うために、常時、教室の窓を少し開けること。
③ 手指消毒をこまめに行うこと。
④ ３密を避けるよう、十分な間隔をとること。
⑤ 給食時の会話、特に準備や後片付けの際は静かに行うこと。
⑥ 他学級や他学年との交流を極力控えること。
⑦ 毎日の検温徹底と体調の管理に努めること。同居の家族に発熱等風邪症状が見られる場合は登校を控えること。
⑧ 部活動は、当面の間、中止すること。

※このように各自が注意しながら生活をしていても、誰もが感染する可能性があることを自覚し、感染者や濃厚接触者への差別や偏見、誹謗中傷などを行わないようにお願いしました。

さて、この夏はオリンピック、そしてパラリンピックが開催され、トップアスリートの活躍をテレビで観戦する中で、スポーツのすばらしさを感じ、オリンピック・パラリンピックが平和の祭典であることや多様性を実感することができました。

また、お盆を含めた豪雨により、多くの場所で被害を受けました。部活動や夏休み学習会等、自宅待機として中止せざる負えない事態となってしまいました。

このような中、コロナ感染流行拡大も受けて、どこの学校においても、今後の諸活動を創意工夫することが求められています。

１０月には、修学旅行（１０／１９～２０）を含めて大きな学校行事を開催します。現状としては、裏面にあります淵フェス、駅伝大会は実施する予定ですが、今後のコロナ感染状況によって実施の可否を判断いたします。

○ 淵フェス（１０／８：稲佐山）

昨年度と同様、合唱そしてダンスなど、生徒会みんなで楽しく企画する行事となってほしいと思っています。感染対策を行いながらの準備と練習に取り組んでいきます。

合唱では、学級が１つにまとまり、美しいハーモニーを表現するために、実行委員、指揮者や伴奏者のリーダーシップを期待しているところです。

ダンスでは、体育の授業で学んできたダンスを通して、明るく楽しく表現するよさを味わってほしいと思います。

○長崎市中総体駅伝競技（１０／５：かきどまり）

学校を代表して出場する駅伝大会です。毎日の練習は大変で、きつく辛いものです。出場する選手は、十分に走る練習ができない中での大会となりますが、今年もテーマは、「限界への挑戦」「チャレンジ～各自の目標に対する挑戦～」と考えています。

記録への挑戦、自分への挑戦。そしてその結果が、他校への挑戦、また県への挑戦となります。すべての学校のたくさんの仲間たちが、この駅伝大会に向けて熱い気持ちを持って、自分のため、学校のため、地域のために努力しています。頑張る生徒たちに、たくさんの声援をお願いします。

○最後に、３年生の皆さんに、進路のことについて話しました。

生徒たちは、「将来の夢」「なりたい自分」を思い描き、そのためにどこの高校に進学し、何を学ぶのか、学ぶべきなのかを真剣に考えているところです。

これから、受験に向かう勉強は辛いものですが、目標を持ち、計画を立てて実行することが大切です。努力の上に花は咲きます。しっかりと腰を据えて学習に取り組む、たくましい姿を後輩たちにも見せてほしいと思います。

勉強や友達関係、家族のことなど、悩みが多いこの時期です。悩みはあって当たり前で、一人で抱え込まないことが大切です。思うようにいかない時は、友達や先生、保護者、信頼している人、誰でもいいから相談するよう話しました。

すべての生徒が、明るく大きな声で挨拶や返事を交わし、誰にでもやさしく、たくましい生徒であること、日々、全力で何事に取り組み、感動を分かち合い、すすんで歓んで行動する生徒であることを期待しています。

「自ら学び　心身ともに　しなやかでたくましい生徒の育成」

長崎市立淵中学校　校長　吉原　幹男